特集 京王・井の頭線ブロック PART2

京王・井の頭線ブロックとは、高井戸東、高井戸西、上高井戸、久我山、和泉、大宮、永福、下高井戸、浜田山の各町です。今回はその中から、主に東側の地域で活躍する人たち、催し物などを紹介します。

京王・井の頭線ブロックの東側に位置するこの地域は、井の頭線や路線バスで新宿や渋谷など都心部へのアクセスが良く、永福には首都高速4号の出入口もあり、車の利用も便利。都心にほど近い立地にもかかわらず、緑地が多く、驚くほど静かな環境です。「大宮」の地名の起こりとなった大宮八幡宮は、約千年の歴史を有する子育て八幡として知られ「東京のへそ」という異名を持っています。

駅も街も生まれ変わる～永福町～

昨年より、永福町駅舎を駅ビルに改装する大規模な工事が始まりました。駅とともに、まちも大きく変わろうとしています。永福町商店街振興組合・理事長の中島安次さんにお話を伺いました。

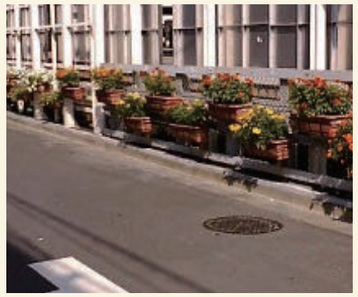
永福しあわせ通りのナイトバザール

現在、駅の出口は北口の一カ所のみで、南北の商店街が踏切で分断された状態。この点が人通りの減少を招いていることは以前からも指摘されていました。そんな折、京王電鉄で駅舎のバリアフリー化工事の話が持ちあがり、商店街としては、これを機に南口の設置を実現したいと考えたのです。

要望を提出し、京王電鉄も快く受理。その後、駅舎改築に伴う今後のまちづくりと活性化を考えようと、商店街と区、そして地元の高千穂大学の産官学が連携して話し合い、研究を重ねました。これが、区の「アクティブ事業」として認可され、一昨年より活動がスタートしました。

アクティブ事業の柱となるのが、通勤者の帰宅時間に合わせて年複数回、夕方から路上バザールを行う「ナイトバザール」と、京王線沿線道路のフェンスと商店街の各店頭にプランターを設置し花を飾る「しあわせ通り花いっぱい運動」。特にこれらの花は大変管理が行き届いており、その美しさは町の内外で評価されています。

花の管理や植え替えは、ボランティアで結成された「永福町・花咲かせ隊」をはじめ、近隣学校、水道局などから多大な協力を得ています。従来は「商店街のみで活動する向きがあった」と言う中島さん。しかし、この活動を通じて、地域との連携の重要性を強く感じたそう。


フラワーロード（永福町駅南側）

今後は、商店街と住民の距離を縮めることで、住民の意志を反映した楽しい商店街作りを目指します。

駅舎は2010年度に完成予定。現在は、人が集まるまちづくりの準備期間と言えますが、「まちの雰囲気を壊すような、手段を選ばない集客は良くない」と中島さん。せっかくの歴史ある穏やかな"永福町らしさ"を大事に守りつつ、新しい永福町を築いていくのです。

浜田山 ～子供の笑顔に会える街～

浜田山が目指すのは「安心・安全のまち」。特に、子供が安心して住めるまちづくりが目標。町内には防犯カメラ20台を設置するとともに、地域の大人たちの目が子供たちを見守ります。

今回お話を伺った浜田山商店連合会・理事長の武井宗義さんは、地元の子供たちに慕われる"おじちゃん"。子供を叱る大人が減っている中、自転車の無灯火、二人乗りをする子供を見つけるなり、武井さんなら「コラ！」と一喝。すると子供たちは、笑いながらも素直に行動を正します。浜田山では、そんな微笑ましい光景が今でも当たり前に見られます。

区の小学校の平均生徒数が300人ほどに対し、浜田山小は何と800人以上。子供のいる世帯に選ばれているまちということが分かります。

また、商店連合会は、メインロード商店街ほか7つの商店街により構成。街灯に季節ごとの装飾を施したり、お祭り、ボランティア活動など、イベントは各商店街ごとに行っています。それでも、どの商店街も連合会からは抜けず、いざというときの団結力は強固。空き店舗がほとんどできないことも強みです。

区内の南北を結ぶバス・すぎ丸も功を奏し、ますます活気づく浜田山。人同士の思いやりで良い住環境が創られた好例です。

浜田山壱番街 夏祭り

地歴散策 ～永福寺と永福稲荷～

◆渋谷から京王井の頭線急行で12分。都心にありながら、昔ながらの商店街と閑静な住宅街が続く永福町。この町の名前の由来となったのが、永福寺（杉並区永福1-25-2）です。

◆永福寺は、大永2（1522）年、秀天慶実和尚により当地に開山された古寺で、本尊は十一面観音立像、脇仏が不動明王と毘沙門天です。本堂は1961年、鐘楼堂は1963年に建立されました。

◆戦国時代、この寺は北条氏家臣ゆかりの所領でしたが、天正18（1590）年小田原北条氏の滅亡後、北条氏家臣の安藤式部ら主従7名が相模大住郡から移り住み、土地を開拓。それ以降、この一帯を永福寺村と呼称するようになったそうです。

◆また、寺内の正保三年銘五輪庚申供養塔は、正保3（1646）年造立の石塔ですが、庚申塔としては、区内最古で五輪塔形式も当時としては非常に珍しいそうです。

◆当初は、大宮八幡宮から南へ向かう鎌倉街道と久我山方面に通じる道の交差点に建てられており、かつての修験儀宝院の塚であったといわれています。

◆東隣にある永福稲荷神社（杉並区永福1-24-6）は、享禄3（1530）年に永福寺の鎮守として創建されました。祭神が食物を司る宇迦之御魂命で年中行事の中でも特に例年、初午祭や秋の大祭には数多くの奉納された幟がたてられ参詣の人々で賑わうそうです。

永福寺本堂

御神木と永福稲荷神社

杉並区の笑顔

杉並区の好きなところを伺いました。

株式会社ハイランドセンター
代表取締役社長
内藤裕義 氏

「井の頭線の車窓から見える赤い鳥居と鮮やかな緑、ふと行ってみたくなる空間」は後世に残すべき財産と内藤さんは強調します。ゴルフを通じて家族が会話を増やし健康な家庭を築いてほしいとの思いから、ゴルフ練習場に隣接して東京ゴルフ専門学校を設立し、子供から大人まで多くの人にカルチャーとしてのゴルフを浸透させることを目指しています。ゴルフの魅力は、安らぎと感動が同時に味わえる点で、他のスポーツにはない特長、と内藤さん。「穏やかで知的な住民と環境のもと、これからも皆さんの声を聞きながら地域に貢献したい」と、元気溌溂の笑顔で語ってくださいました。

上田運輸株式会社
代表取締役
齊正子 氏

会社は永福、住まいは浜田山という齊さんは、この地の静かな環境、のんびりした雰囲気が大好きなのだそう。従業員たちの性格が温厚で優しいのも、土地が育む人柄なのかしら、と笑います。専業主婦として子育てを終えた後、50歳で第二の人生を歩み始め、現職に。従業員は若い男性ドライバーが多く、彼らが安心して世帯を持ち、家族を養える会社にしたいと語ります。男性社員は、特に子供ができると責任感から仕事ぶりがガラリと変わると言います。その結果、会社の景気にも良い影響が出るのではと語る齊さんの笑顔から、頼れる社長、優しい母の両面が垣間見られました。

NEXT

杉並支部レター第9号は10月発行予定。和田堀ブロックを特集する予定です。お楽しみに！

杉並支部の事業より

◆4月8日（水）平成21年度税制改正の概要と対応策セミナー

◆4月21日（火）好感を持たれるビジネスマナー実践セミナー

◆5月13日（水）わかりやすいコーチングで会社は強くなる！ ビジネスコーチング実践入門講座

◆5月28日（木）～人材活用と雇用維持支援のための～ 中小企業緊急雇用安定助成金等説明会

東京商工会議所入会のご案内

～会員として東京商工会議所にご加入いただくと、様々なメリットがございます！～

■資金のご案内

★経営改善資金（マル経融資）…マル経融資（小規模事業者経営改善資金）は小規模事業者の方々の経営をバックアップするために無担保・無保証人で商工会議所の推薦にもとづき融資される国（日本政策金融公庫）の融資制度です。

★東京商工会議所メンバーズビジネスローン…東京商工会議所と協力金融機関（銀行・信用金庫・信用組合）の提携により、通常より優遇された条件で融資が受けられる東商会員ならではのメリットです。

■経営のご相談

専門家が無料でご相談にお応えします。

★法律相談・税務相談…経営上、お困りの方はお気軽にご相談ください。弁護士・税理士がお答えいたします。

★エキスパートバンク…小規模事業者の皆さまからのご要望に応じて、東京商工会議所に登録されたエキスパート（専門家）を直接事業所に派遣し、具体的・実践的なアドバイスによって問題の解決に役立てていただくものです。

政策提言・要望活動 経営環境の改善と活力のある経済社会の実現に向けて会員企業の皆さまの声を政治・行政に反映させます。

地域振興活動 産業振興・地域活性化に向けて会員企業の皆さまと地域社会の取り組みを推進します。

経営支援活動 経営の改善と新たな成長に向けて取り組む企業の挑戦を力強くバックアップします。

杉並支部 今後の事業予定

【特別講演会・会員交流会】

2009年7月16日（木）
16時30分～18時30分
講師：（株）ハマキョウレックス
　　会長 大須賀 正孝 氏
テーマ：
会場：新東京会館（阿佐谷南1-34-6）
会費：無料

3級簿記講座

2009年9月1日（火）～11月10日（火）
毎週 原則　火・金
18時30分～20時30分（全20回）
杉並区立産業商工会館（阿佐谷南3-2-19）
受講料：25,000円（税込み・1名につき）
※いずれもテキスト代と3級検定試験料を含む
要事前申込

お問い合わせ：東京商工会議所杉並支部　03-3220-1211